

2020年9~11月

北海道地方 秋の天候

2020年12月1日

札幌管区気象台 気象防災部

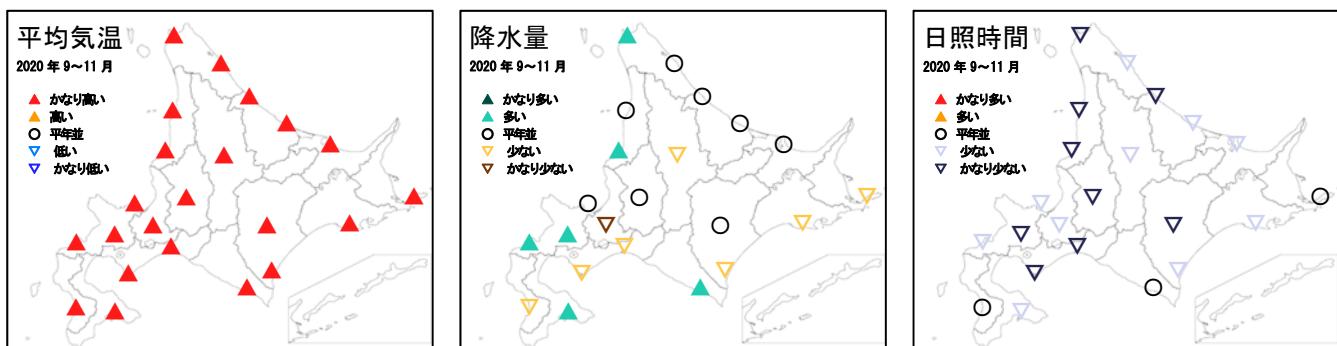
地球環境・海洋課

今秋(9~11月)の概況

— 秋の気温は平年よりかなり高く、9月上旬は記録的な高温。秋の日照時間はかなりの寡照。 —

今秋は、北からの寒気の影響を受けた時期もあったが、中国大陸から本州付近を通って日本の東に進んだ高気圧の周りを回って南から暖かく湿った気流が入りやすかったため、気温は平年より高かった。特に9月上旬は、太平洋高気圧が北海道付近に張り出したため、各地で真夏日となった日が多く、記録的な高温となった。10月と11月は、低気圧や気圧の谷の影響により日本海側とオホーツク海側を中心に雨の日が多く、局的に大雨となった所があった。また、11月は冬型の気圧配置が弱かったため、日本海側の降雪量は平年より少なかった。秋の日照時間は、南からの湿った気流と低気圧や気圧の谷の影響により、平年よりかなり少なかった。初雪は、10月下旬から11月にかけて気温の高い日が多くかったため、平年より遅かった。

階級分布図



季節の気候表

9~11月	気温		降水量		日照時間	
	平年差(°C)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	+1.3	か高	94	並	90	か少
日本海側	+1.5	か高	94	並	91	か少
オホーツク海側	+1.3	か高	96	並	87	か少
太平洋側	+1.2	か高	92	少	90	か少

注) 気候表の数値は、地域内の気象台等（日本海側10地点、オホーツク海側4地点、太平洋側8地点、北海道地方全体では計22地点）の観測値の平年差または平年比の平均を示す。

・「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の階級は、1981~2010年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる（各階級が10個ずつになる）ように決めている。また、値が1981~2010年の観測値の下位または上位10%に相当する場合には、「かなり低い（少ない）」「かなり高い（多い）」と表現する。

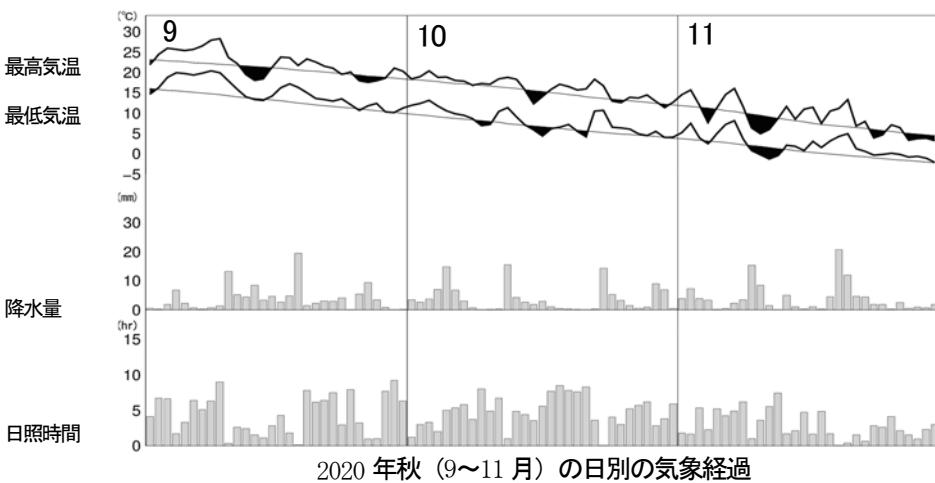
月別の気候表

9月	気温		降水量		日照時間	
	平年差(°C)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	+1.7	か高	78	並	83	少
日本海側	+2.0	か高	68	少	90	少
オホーツク海側	+1.8	か高	59	少	86	少
太平洋側	+1.3	高	99	並	74	か少

10月	気温		降水量		日照時間	
	平年差(°C)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	+1.0	高	100	並	97	並
日本海側	+0.9	高	98	並	97	並
オホーツク海側	+1.1	高	93	並	93	少
太平洋側	+1.1	高	107	並	99	並

11月	気温		降水量		日照時間	
	平年差(°C)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	+1.3	高	105	並	85	少
日本海側	+1.4	高	118	多	78	少
オホーツク海側	+1.0	高	167	か多	79	か少
太平洋側	+1.4	高	58	か少	96	並

気象経過図



【気温】

今秋は、寒気の影響を受けた日もあったが、高気圧に覆われる日や南から暖かい空気の流入する日が多くたため、平均気温は平年差+1.3°Cと平年よりかなり高かった。特に9月上旬は1961年の統計開始以来の極値を更新した。

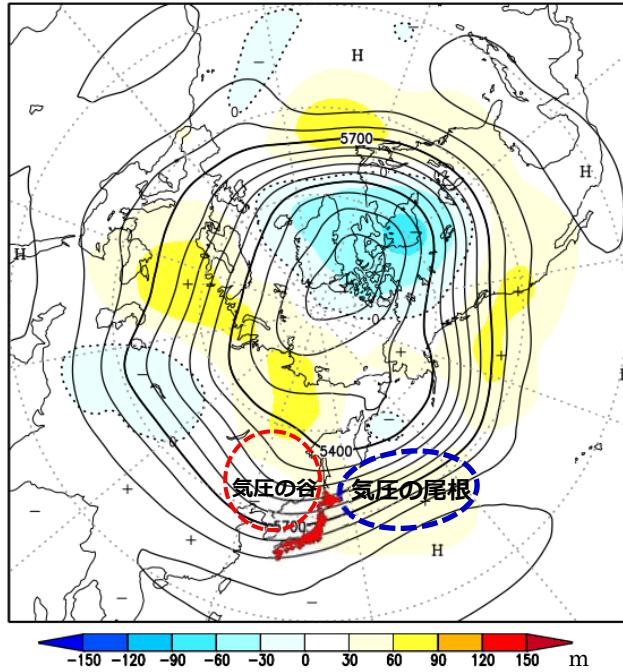
【降水量】

9月は、南からの湿った気流や低気圧の影響により太平洋側では平年並となったが、日本海側とオホーツク海側では少雨となった。10月は低気圧や気圧の谷の影響で、11月は低気圧や冬型の気圧配置により、日本海側とオホーツク海側では雨または雪の日が多く、平年より多い時期があった。秋の降水量は、平年比94%の平年並となった。

【日照時間】

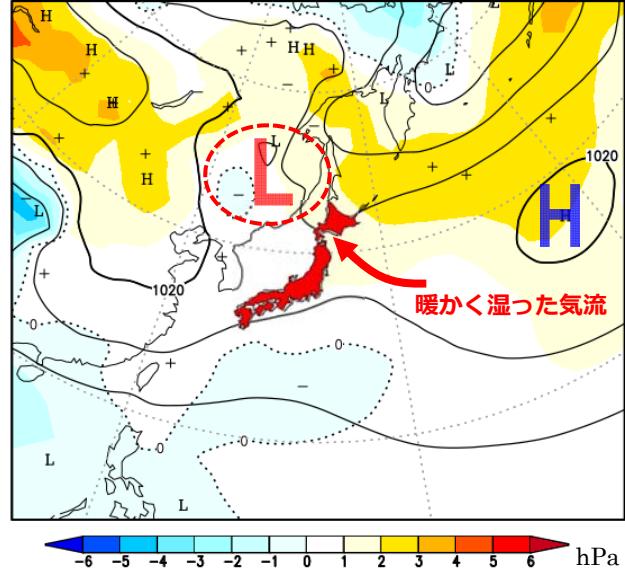
9月は、低気圧や南からの湿った気流により曇りまたは雨の日が多かったため、月間日照時間は日本海側とオホーツク海側では平年より少なく、太平洋側では平年よりかなり少なかった。10月と11月は、低気圧や冬型の気圧配置の影響により、日本海側とオホーツク海側では雨または雪の日が多く、日照時間が平年より少ない時期があった。秋の日照時間は、平年比90%のかなりの寡照となった。

秋の大気の流れと地上天気図の特徴



北半球の3か月平均の500hPa高度と平年偏差
(平年値は1981~2010年の平均値)

実線は500hPa高度(m)、点線は平年偏差(m)。平年偏差が暖(寒)色の領域は平年より高度が高(低)く、一般に暖(寒)気に覆われやすい。上空では、風は等高度線に沿って西から東に吹いている。等高度線が南北に波打っている状態は偏西風が蛇行しており、等高度線の間隔が狭い所では偏西風が強い。



日本付近の3か月平均の海面気圧と平年偏差
(平年値は1981~2010年の平均値)

実線は等圧線(hPa)、点線は平年偏差(hPa)。平年偏差の暖(寒)色は、平年より気圧が高(低)い領域。寒色の領域では、平年より気圧の谷や低気圧の影響を受けやすい。

500hPa(上空約5500m)天気図

中国東北区から朝鮮半島付近にかけて気圧の谷(赤点線)となった一方、日本の東では高度が高く、気圧の尾根(青点線)となった。このため、北海道付近は暖かく空気に覆われやすかった。

地上天気図

中国東北区から日本海北部にかけて、気圧の谷(赤点線)となっており、日本海側を中心に低気圧や前線の影響を受けた時期があった。一方、日本の東では気圧が高く、北海道付近は、南から暖かく湿った気流(赤い矢印)の影響を受けやすかった。

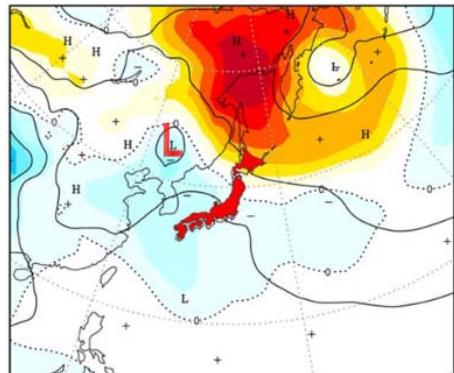
月毎の気象

(1) 9月『高温・並雨・寡照』

— 気圧の谷や湿った気流の影響を受けやすく寡照。上旬は記録的高温 —

気象経過：この期間の天気は、上旬は太平洋側では曇りや雨の日が多くたが、日本海側やオホーツク海側では晴れた日が多くた。また、暖かい空気に覆われたため旬平均気温は記録的に高く、各地で真夏日となつた。中旬は気圧の谷や湿った気流の影響により全道的に曇りや雨の日が多く、太平洋側では日照時間の少ない状態が続いた。下旬は高気圧の張り出しの中となって晴れた日もあつたが、気圧の谷や湿った気流の影響により、オホーツク海側では曇りや雨の日が多くた。

地上天気図：西日本から中国東北区付近にかけて低圧部となつた。一方、北海道の東では高圧部となり、太平洋側を中心に南から暖かく湿った気流が入りやすかつた。また、オホーツク海でも気圧が高く、オホーツク海側では東からの湿った気流が入りやすい時期があつた。



9月の地上天気図

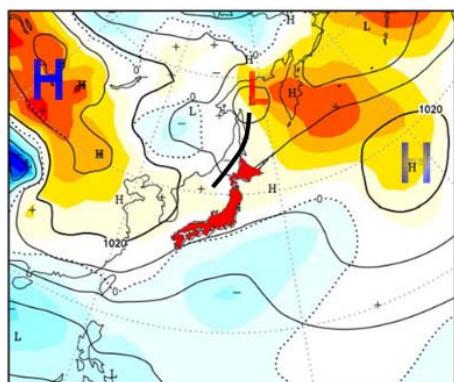
図の見方は秋の地上天気図に同じ

(2) 10月『高温・並雨・並照』

— 暖かい空気が流れ込みやすく高温のひと月 —

気象経過：この期間の天気は、上旬は低気圧や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多く、特に5日は檜山地方で大荒れの天気となつた所があつた。中旬は高気圧の張り出しの中となって晴れた日が多くたが、前線や気圧の谷の影響で雨の降つた日もあつた。12日は石狩地方や胆振地方で大雨となつた所があつた。下旬は天気は数日の周期で変わり、高気圧の張り出しの中となって晴れた日もあつたが、低気圧や気圧の谷の影響で曇りや雨の日もあつた。

地上天気図：オホーツク海北部から日本海北部にかけて気圧の谷（黒い太線）となっており、日本海側やオホーツク海側を中心に前線や気圧の谷の影響を受けやすかつた。千島近海からカムチャツカ半島付近にかけて気圧が高く、西高東低の気圧配置になりにくかつた。



10月の地上天気図

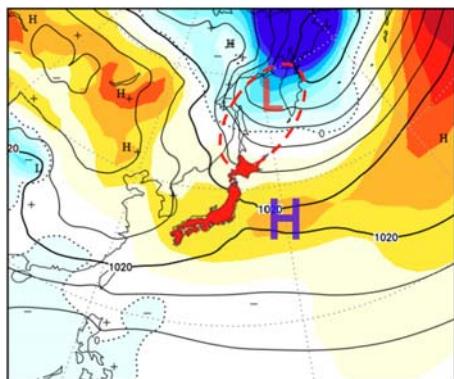
図の見方は秋の地上天気図に同じ

(3) 11月『高温・並雨・寡照』

— 寒気の影響を受けにくく高温。低気圧の影響で日本海側とオホーツク海側は多雨寡照。 —

気象経過：11月上旬から中旬は低気圧や気圧の谷の影響を受けやすかつたため、日本海側とオホーツク海側では雪または雨の降つた日が多くた。また、冬型の気圧配置が弱く、寒気の影響を受けにくかつたため、全道的に気温の高い日が多くた。19日には低気圧と湿った気流の影響により日本海側で大雨となつた所があつた。下旬は低気圧や冬型の気圧配置の影響により、全道的に雪または雨の降つた日が多くた。

地上天気図：東シナ海から日本の東にかけて帶状に気圧が高く、高気圧に覆われやすかつた。北海道付近は、高気圧の周りを回つて南から暖かい空気が入りやすかつた。一方、カムチャツカ半島付近から北海道付近にかけて気圧の谷（赤点線）となっており、日本海側を中心に前線や気圧の谷の影響を受けやすかつた。



11月の地上天気図

図の見方は秋の地上天気図に同じ

地点別気候表 (9~11月)

官署名	気温			降水量			日照時間		
	本年	平年差	階級	本年	平年比	階級	本年	平年比	階級
	°C	°C		mm	%		h	%	
稚内	11.8	+1.3	(++)	418.5	111	(+)	321.4	87	(--)
北見枝幸	10.8	+1.2	(++)	377.0	95	(0)	326.0	83	(-)
羽幌	12.3	+1.6	(++)	463.0	101	(0)	312.8	87	(--)
雄武	10.6	+1.4	(++)	279.5	95	(0)	349.4	83	(--)
留萌	12.1	+1.4	(++)	453.5	109	(+)	306.5	87	(--)
旭川	10.8	+1.8	(++)	277.0	79	(-)	309.8	92	(-)
網走	11.5	+1.3	(++)	202.0	85	(0)	407.9	91	(-)
小樽	12.8	+1.5	(++)	368.5	92	(0)	363.7	93	(-)
札幌	13.2	+1.6	(++)	232.5	67	(-)	377.0	91	(-)
岩見沢	11.8	+1.4	(++)	313.5	90	(0)	340.2	85	(--)
帯広	10.9	+1.1	(++)	226.0	83	(0)	417.0	86	(--)
釧路	11.7	+1.4	(++)	274.0	87	(-)	463.6	93	(-)
根室	12.0	+1.2	(++)	271.5	76	(-)	447.0	97	(0)
寿都	12.8	+1.1	(++)	488.5	117	(+)	318.3	94	(-)
室蘭	13.5	+1.2	(++)	248.5	75	(-)	378.9	86	(--)
苫小牧	12.4	+1.3	(++)	302.0	85	(-)	371.6	83	(--)
浦河	12.9	+1.2	(++)	409.5	128	(+)	445.7	98	(0)
江差	14.5	+1.3	(++)	265.0	74	(-)	378.2	102	(0)
函館	13.3	+1.2	(++)	454.5	126	(+)	388.9	89	(-)
俱知安	10.9	+1.5	(++)	460.5	104	(+)	306.6	88	(--)
紋別	11.2	+1.3	(++)	284.5	110	(0)	382.4	90	(-)
広尾	11.8	+1.2	(++)	421.0	74	(-)	398.1	88	(-)

注) ・階級の++は平年よりかなり高い(多い)、+は平年より高い(多い)、0は平年並、-は平年より低い(少ない)、--は平年よりかなり低い(少ない)を示す。
 ・「」付きの値は欠測を含む。「」付きの値は一定の割合以上の欠測を含む。

今秋に観測された統計開始以来3位までの記録

期間	要素	順位	地点	本年	平年差(比)	これまでの1位(年)	統計開始年
9月	月平均気温(高い)	第2位	羽幌	19.3 °C	+2.4 °C	21.3 (2012)	1921
			留萌	18.9 °C	+2.1 °C	21.0 (2012)	1943
			旭川	18.3 °C	+2.4 °C	20.5 (2012)	1888
			小樽	19.7 °C	+2.0 °C	21.6 (2012)	1943
			札幌	20.1 °C	+2.0 °C	22.4 (2012)	1876
			岩見沢	19.0 °C	+2.1 °C	21.5 (2012)	1947
			俱知安	18.3 °C	+2.4 °C	20.2 (2012)	1944
			稚内	18.5 °C	+1.7 °C	19.4 (2012)	1938
			江差	21.0 °C	+1.9 °C	23.0 (2012)	1941
	月間日照時間(少ない)	第2位	帯広	69.3 h	48 %	56.2 (1902)	1900
		第3位	広尾	84.4 h	62 %	77.6 (2011)	1958
10月	月平均気温(高い)	第1位	根室	12.8 °C	+1.5 °C	12.7 (2005)	1879
		第2位	釧路	12.2 °C	+1.6 °C	12.4 (2012)	1910
11月	月降水量(多い)	第3位	紋別	133.5 mm	237 %	170.0 (1972)	1956
		第3位	羽幌	26.0 h	48 %	21.2 (1976)	1921
9-11月	3か月平均気温(高い)	第2位	稚内	11.8 °C	+1.3 °C	12.2 (1990)	1938
			羽幌	12.3 °C	+1.6 °C	12.6 (2012)	1921
			留萌	12.1 °C	+1.4 °C	12.6 (2012)	1943
			旭川	10.8 °C	+1.8 °C	11.3 (2012)	1888
			小樽	12.8 °C	+1.5 °C	13.2 (2012)	1943
		第3位	札幌	13.2 °C	+1.6 °C	13.6 (2012)	1876
			釧路	11.7 °C	+1.4 °C	12.4 (2012)	1910
			俱知安	10.9 °C	+1.5 °C	11.5 (2012)	1944
			広尾	11.8 °C	+1.2 °C	12.5 (2012)	1958
			雄武	10.6 °C	+1.4 °C	10.8 (2012)	1942

		岩見沢	11.8 °C	+1.4 °C	12.5 (2012)	1947
		室蘭	13.5 °C	+1.2 °C	14.0 (2012)	1923
		苫小牧	12.4 °C	+1.3 °C	13.1 (2012)	1942
		浦河	12.9 °C	+1.2 °C	13.6 (2012)	1927
		江差	14.5 °C	+1.3 °C	15.0 (2012)	1941
		紋別	11.2 °C	+1.3 °C	11.5 (1990)	1956

寒候期現象の初日

霜、結氷の初日と初雪、初冠雪の観測日

官署名	霜			結氷			初雪			初冠雪		
	初日	平年差	昨年差									
稚内	×	×	×	11月10日	6日遅	3日遅	11月3日	16日遅		10月7日	4日遅	17日遅
北見枝幸	—	—	—	—	—	—	11月3日	—	同じ	—	—	—
羽幌	—	—	—	—	—	—	11月3日	同じ	3日早	—	—	—
雄武	—	—	—	—	—	—	11月3日	—	同じ	—	—	—
留萌	—	—	—	—	—	—	11月3日	—	3日早	—	—	—
旭川	10月21日	13日遅	25日遅	10月21日	6日遅	7日遅	11月4日	18日遅		9月26日	1日遅	5日遅
網走	11月10日	16日遅	25日遅	11月10日	14日遅	4日遅	11月4日	7日遅		10月29日	16日遅	23日遅
小樽	—	—	—	—	—	—	11月3日	1日遅	1日早	—	—	—
札幌	10月21日	4日早	5日遅	10月21日	6日早	3日遅	11月4日@	7日遅	3日早	10月15日	1日早	22日早
岩見沢	—	—	—	—	—	—	11月4日	—	1日早	—	—	—
帶広	10月16日	7日遅	2日遅	10月16日	3日遅	2日遅	11月4日	2日遅		—	—	—
釧路	10月16日	2日早	2日早	11月9日	18日遅	26日遅	11月9日	2日遅	16日早	10月29日	14日遅	7日早
根室	—	—	—	—	—	—	11月9日	—	6日早	—	—	—
寿都	—	—	—	—	—	—	11月3日	—	3日早	—	—	—
室蘭	—	—	—	11月10日	1日早	4日早	11月4日	5日遅		11月4日	7日遅	3日早
苫小牧	—	—	—	—	—	—	11月4日	—	2日早	—	—	—
浦河	—	—	—	—	—	—	11月4日	—	4日早	—	—	—
江差	—	—	—	—	—	—	11月4日	—	3日早	—	—	—
函館	10月16日	3日早	2日早	11月10日	13日遅	6日遅	11月4日	6日遅		10月25日	同じ	14日早
俱知安	—	—	—	—	—	—	10月30日	—	7日早	—	—	—
紋別	—	—	—	—	—	—	11月4日	—	1日遅	—	—	—
広尾	—	—	—	—	—	—	11月4日	4日早	4日早	—	—	—

注) • ×は欠測、*は統計切断、---は統計していない項目。

• @は目視による観測であることを示す。

今秋に発表した天候に関わる気象情報※

なし

※ ここでの「気象情報」は、平年から大きくかけ離れた気象状況が数日間以上続き、社会的に大きな影響が予想されるときなどに発表する情報を指します。

※データは速報値であり、後日変更される場合があります。

お問い合わせ先

札幌管区気象台気象防災部 地球環境・海洋課

TEL (011)611-6174